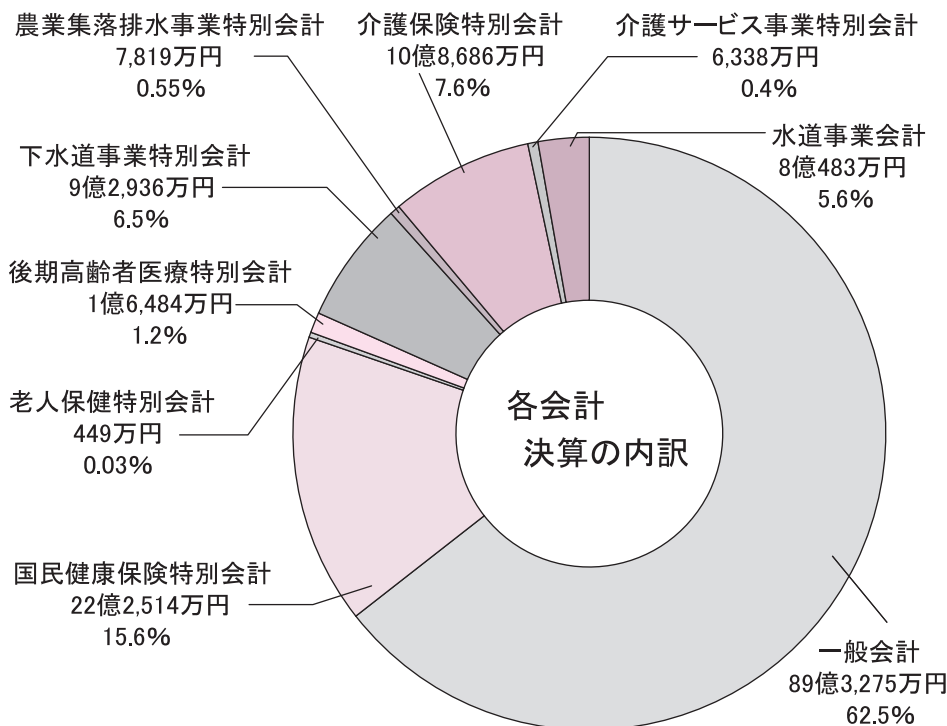
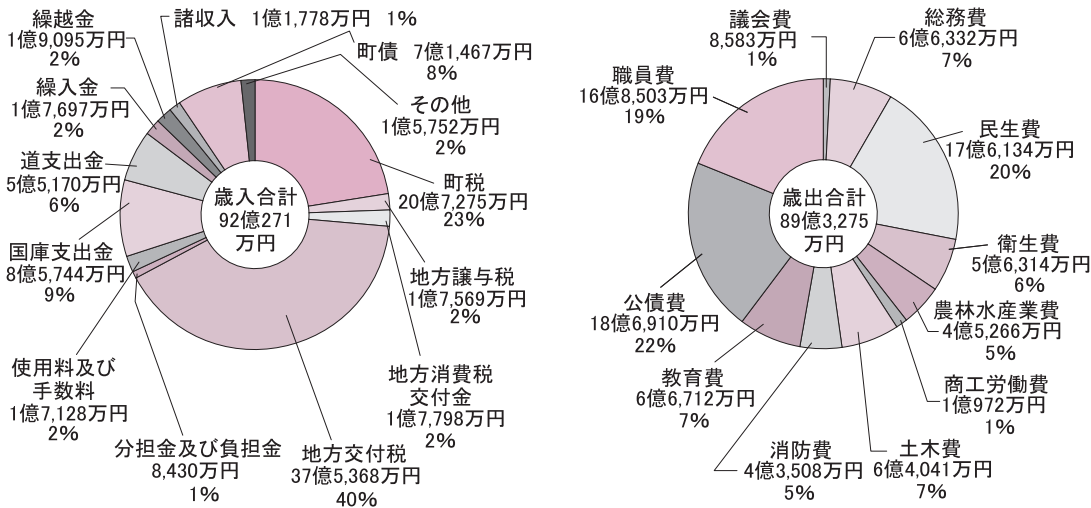


決 算 認 定

一般会計決算

収入額は21年度(以下、前年度)より0.2%増加し、支出額は前年度より0.7%減少しました。
 また、実質収支額は2億2,546万円の黒字(前年度は1億6,138万円)となりました。
 1番大きな収入の地方交付税は前年度より2.9%増加し37億5,368万円でした。
 支出のうち民生費では、認定こども園整備事業を含む保育所費(3億4,410万円)や子ども手当を含む児童措置費(2億7,542万円)が大きく増額し前年度より28.4%増加の17億6,134万円となりました。

議会は、平成23年第4回定例会を休会し、9月15日、16日、21日の3日間の日程で、平成22年度当別町各会計決算審査特別委員会稲村勝俊委員長、以下決算委員会)を設置し、平成22年度決算を慎重に審査しました。
 一般会計と7つの特別会計の歳入歳出決算と、水道事業会計の決算を原案のとおり認定しました。
 なお、決算委員会の報告書は、下記の5人の委員で構成する起草委員会(市川正委員長)が作成しました。



右から神林俊一副委員長、稲村勝俊委員長と中越事務局長

委員長	市川 正
委員	岡野 喜代治
委員	小早川 孝 男
委員	白 杵 英 男
委員	石川 和 栄

平成22年度 歳出決算の総額 142億8,862万円